

あ と が き

<編集顧問> <編集委員>

小野 啓 郎 糸 満 盛 憲
竹 光 義 治 荻 野 利 彦
山 室 隆 夫 越 智 隆 弘
矢 部 裕 菊 地 臣 一
黒 坂 昌 弘
清 水 克 時
高 岸 憲 二
富 田 勝 郎
戸 山 芳 昭
守 屋 秀 繁

<編集同人>

井 形 高 明 澤 村 誠 志
生 田 義 和 杉 岡 洋 一
井 樋 栄 二 田 辺 剛 造
岩 田 久 田 畑 四 郎
岩 本 幸 英 玉 置 哲 也
大 井 利 夫 中 村 耕 三
小 野 村 敏 信 馬 場 久 敏
加 藤 博 之 浜 西 千 秋
金 田 清 志 廣 谷 速 人
黒 川 高 秀 佛 淵 孝 夫
腰 野 富 久 三 笠 元 彦
紺 野 慎 一 三 浦 隆 行
櫛 田 喜 三 郎 持 田 讓 治
酒 匂 崇 山 田 治 基
桜 井 実 吉 川 靖 三

2月、玄関には李朝の壺に水仙を投げ入れ、去年亡くなった母の遺影には菜の花を飾っています。季節の移ろいを身近に感じたいのは、「人生はやり直すことなど出来ない」ということを知る年齢になったせいでしょうか。

昨今のマスメディアを賑わせている情報に接して、プロフェッショナルな職業としての医療人の内と外に崩壊の予兆を感じるのには私だけではないのではないのでしょうか。もちろん、社会規範の弛緩がその基底にあります。それにしてもIT化の影響による患者や関係者との意思疎通能力の劣化、professionalism(目的に対する単純で強固な意志、低い水準で満足することの拒否、骨身を削る努力：ディック・フランシス)の欠如を思わせる、「修業とは矛盾に耐えること」を放棄した安直な研修、医療人以前の社会人としてのモラルの欠如による破廉恥な犯罪など、枚挙に暇がないほどです。

一方、外に目を向けると、国家財政の破綻による医療制度の大幅な変更が目の前で音を立てて進められています。医療保険制度の変更や医師の裁量権の制限など、後世必ず医療史に記録されるであろう案件が、医療人の声が反映されないまま議論され、実行に移されつつあります。

医療人として大成するには、矛盾や理不尽に耐え抜く忍耐と気概が必要です。そういう直向きな姿勢が、先輩や師匠に「面倒みてやろう」という気持ちを起させるのですが、そういう雰囲気は希薄になっているのが気になります。そういう先輩も、しくじりながら生きてきたのです。それでも日々ベストを尽くして生きているのです。その結果、挫折や哀しみの数だけ他人に優しくなれるのです。私のような老人は、それを若い人に論さなければならないし、若い人はそれを日々の修業の中で学ばなければなりません。

われわれの環境を一変させるような医療構造変更の動きに対して、医療人の声や動きはあまりに小さすぎます。われわれ医療人がマスメディアを通じて見聞する情報に接すると、「炎の熱を直接感じる機会がない人が、炎について語っている」ように感じますが、果たしてそれでよいのでしょうか。「警鐘を鳴らす奴は、いつも安全なところにいる：セルバンテス」という警句もあります。

われわれ医療人は、目の前の仕事を黙々とこなすことこそが大切なことだと教えられてきました。しかし、未曾有の医療変革にあるこの時期、当事者であるわれわれ医療人が積極的に議論に参加すべきではないでしょうか。なぜなら、大局的にみると、現在の医療環境の良い点と正すべき悪い点はわれわれ現場の人間が一番知っている筈ですから。昨今の地域医療の崩壊や患者との信頼関係の低下は、医療人が実情の説明を怠ってきたことにも一因があることは間違いありません。「風を待っている軒下の風鈴」では、われわれの professionalism や世界に誇る医療システムは守られません。「大事争うべし、些事構うべからず」ですが、今の医療情勢は、医療人にとっても国民にとっても大事です。

(菊地臣一)

臨床整形外科 (第42巻 第3号)

2007年3月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 2,520 円(本体 2,400 円+税 5%)

(2007 年ぎめ予約購読料 29,400 円
(但し、増大号を含む)(配送料弊社負担))

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金 原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

電話 編集室直通 (03) 3817-5704(担当：石井・山崎)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株)

電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社

電話 (03) 3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2007, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・ JCLS<(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の承諾を得てください。